

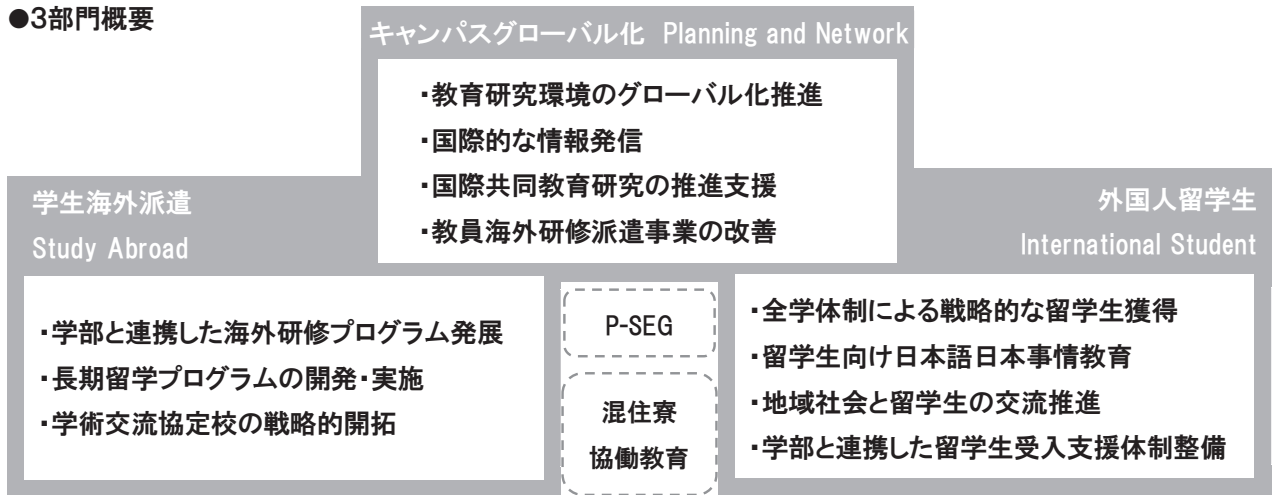
グローバルセンター

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2023-02-01 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10232/00032274

グローバルセンター

1. グローバルセンターについて

●3部門概要



●教員

センター長

馬場 昌範

CPグローバル化 Planning and Network		学生海外派遣 Study Abroad		外国人留学生 International Student	
教授	中谷 純江	教授	畝田谷 桂子	教授	和田 礼子
特任講師	福富 渉	特任准教授	森田 豊子	講師	市島 佑起子

2. 平成29年度の活動内容

2-1. 平成29年度グローバルセンター運営委員会

(1) 主な審議事項

A. 教務・教育プログラム運営

Study Japan Program 開設科目と修了要件（前後期）／修了認定（前後期）

日本語日本文化研修留学生プログラム

B. 学生受入・派遣

鹿大「進取の精神」支援基金事業（留学生受入推進事業の募集等）、危機管理WG

C. 雇用・管理

特任教員の補充、平成28年度決算／平成29年度予算／平成30年度非常勤講師雇用計画

(2) 開催日程

*はメール会議

回数	1	2	3*	4	5	6	7*	8	9	10*	11*	12*	13*
日程	2017										2018		
(始)			8/4	8/23	9/5	9/19	10/11	10/17	11/21	12/12	1/18	3/1	3/7
(至)	6/20	7/18	8/7				10/13			12/14	1/24	3/6	3/12

2-2. 平成29年度グローバルセンター年間事業（主要一覧）

(平成29年度前期)		★授業科目：単位有	
月	全体業務	学生海外派遣推進・日留協働学習	外国人留学生受入推進
4月	第1回KUToday編集委員会 海外研修担当者会議	各国語 Speaking Lunch Table、伝えよう！私の海外体験、留学相談 4～7月 Intensive English 4月～7月 清華大学説明会／選考／帰国報告 P-SEG説明会／海外研修説明会	★Study Japan Program 4/10～ 留学生受入サポートデスク 学部新入生履修申請補助 日本語プレースメントテスト 新入留学生オリエンテーション
5月	第1回グローバルセンター運営委員会 若手教員海外研修報告会	グロスベ外国語 5月～7月 トビタテ!留学JAPAN派遣小委員会面接等指導 海外研修報告会 海外研修説明会(台湾・ノースダコタ・北米：6回)	日本語5週間プログラム(1期) 5/8～6/9 第1回短期協定・受入選考委員会
6月	鹿大「進取の精神」支援基金事業シンポジウム 鹿大「進取の精神」支援基金事業報告書刊行 留学生指導交流研究協議会(COISAN) 日韓共同理工系学部留学生事業協議会 留学生のための進学説明会	第1回派遣留学説明会	日本語5週間プログラム(2期) 6/12～7/14 屋久島異文化交流セミナー 6/21～23 日本語授業オープンクラス
7月	第2回KUToday編集委員会	第1回トビタテ!留学JAPAN説明会 グロスベ「日留交流企画(International Quiz Night)」 P-SEG特別講演会(ハラル・シンポジウム) 学生海外研修支援事業選考委員会 鹿大「進取の精神」支援基金事業(長期派遣)2次選考委員会	日本語ポスターセッション 7/28 留学生奨学金選考 (留学生後援会／種村奨学金)
8月	鹿児島県地域留学生交流推進会議	★ノースダコタ海外研修	清華大学夏期研修受入 (鹿児島県／鹿大COC／法文)
9月	第2回グローバルセンター運営委員会 JASSO留学フェア(韓国) 協定校訪問(韓国) JUNBA会議 *北米業務	★台湾海外研修 短期留学生選考会(協定校・派遣) トビタテ!留学JAPAN派遣小委員会応募書類指導 JASSO応募(派遣)	日本語日本文化研修生修了式 チューター説明会 留学生受入サポートデスク JASSO応募(受入)

(平成29年度後期)		★授業科目：単位有	
月	全体業務	学生海外派遣推進・日留協働学習	外国人留学生受入推進
10月	第3回KUToday編集委員会 国費学部留学生進学説明会	各国語 Speaking Lunch Table、伝えよう！私の海外体験、留学相談 10～1月 Intensive English 10月～2月 P-SEG説明会／海外研修説明会	★Study Japan Program 10/9～ 留学生受入サポートデスク 日本語プレースメントテスト、 新入留学生オリエンテーション 第2回短期協定・受入選考委員会
11月	日研生会議 全国留学生センター長・留学生課長等会議	グロスベ外国語 11月～1月 派遣留学説明会(第2回) 第2回トビタテ!留学JAPAN説明会 海外研修報告会	日本語5週間プログラム(3期) 10/30～12/5 日本語授業オープンクラス
12月	第4回KUToday編集委員会 日本留学フェア(マレーシア)	グロスベ「日留交流企画「Quiz Night」「日本舞踊」 学生海外研修支援事業選考委員会 P-SEG講演会(これからの日本の多文化共生)	日本語5週間プログラム(4期) 12/7～1/26 国費留学生選考委員会(延長申請)
1月		トビタテ!留学JAPAN派遣小委員会面接／応募書等指導	国費留学生選考委員会(大学推薦)
2月	留学生指導交流研究協議会(COISAN)	「進取の精神」支援基金事業(長期派遣)1次選考委員会 ★カリフォルニア海外研修(基礎コース・プロフェッショナル) ★イラン海外研修 ★シンガポール海外研修 JASSO報告書作成	進取の精神基金受け入れプログラム (超短期) 2/14-22
3月	第3回グローバルセンター運営委員会		チューター説明会 留学生受入サポートデスク 国費留学生選考委員会(大学推薦日研生)

2-3. 平成29年度グローバルセンター教育関連事業（概要報告）

本節では、グローバルセンターが実施している事業の中から、特に学生教育を中心に概要を報告する。

(1) 学生海外派遣

(1a) 日本人学生の海外派遣実績

グローバルセンターでは、「進取の精神グローバル人材育成プログラム(P-SEG)」と、鹿大「進取の精神」支援基金事業の一体的運営によって人材育成効果を高めるため、同基金事業に新たに中期派遣留学を設けて21名を支援し、同基金派遣支援学生総数は107名となった。また、大学独自の支援として、海外派遣学生に「鹿児島大学学生海外研修支援事業」「鹿児島大学学生海外留学支援事業」「鹿児島大学学生海外学会発表支援事業」による経済支援を継続して実施したほか、外部資金であるJASSO海外留学支援制度に応募し採択された海外研修及び協定校派遣8プログラムの参加者（奨学金総支給額2,639万円）に経済支援を行った。以上のような取組の結果、平成29年度の学生海外派遣数は294名となり、増加傾向にあることが特筆される。

(1b) 海外留学啓発活動・指導

留学を希望する学生に対する情報提供機会として「派遣留学説明会」「清華大学留学説明会」「トビタテ！留学JAPAN 応募説明会」を年5回開催した（298名参加）。さらに、「トビタテ！留学JAPAN」プログラム採択者増に向けた応募者指導を実施し、本年度（7.8期）採択者を13名輩出して第1期～8期採択者総数が43名となり、合格実績のある国立大学76校のうち17位となった。加えて、循環型留学啓発教育では、グローバルランゲージスペースにて留学体験発表と後輩への啓発を目的とする「伝えよう！私の海外体験」を11回（175名参加）、個別留学相談（36名参加）を実施した。最後に、留学情報を記入するファクトシート作成とともに、学生海外派遣部門HPに留学体験談サイト「伝えよう！鹿大生の海外体験」を新設して帰国報告掲載を事後学習に組み込んだ。

(2) 日本人・留学生の協働学習

外国人留学生と日本人学生の協働学習を行うグローバルランゲージスペースの活動として、昼休みの活動（English Speaking Lunch Table等、前期4言語、後期3言語）に延べ998名、週1回のグループ学習「グロスぺ外国語」（前期8言語、後期9言語）に289名、International Quiz Night（英語クイズ年2回）62名、「日本伝統芸能の紹介—日本舞踊」19名の参加があった。English Speaking Lunch Table等およびグロスぺ外国語に対して事後検証として参加者アンケートを実施した結果、両企画とも意義を認める回答が多数得られた。また、外国語サロン（仏語）と10回共同実施したFrench Speaking Lunch Tableは活動の質が向上し、今後も更なる発展が期待される取組であるといえる。

(3) 外国人留学生受入

(3a) 外国人留学生受入状況・教育体制

外国人留学生対象「Study Japan Program」では、受講生が多様な科目を履修できるよう開講時間変更等で充実を図り、年間受講者総は延べ690名（昨年度632名）に増加した。また、鹿大「進取の精神」支援基金留学生受入推進事業で「鹿児島日本語・日本文化研修プログラム」を新設して留学生4

名、「研究留学生受入プログラム」新設して6名を受入れた。さらに、学術交流協定校の米国サンノゼ州立大学日本語学科と連携し、双方向授業 COIL 開始に向けて検討を進めた。

共通教育改革による新必修科目初年次セミナーの学修内容を踏まえ、外国人留学生必修科目である日本語・日本事情科目を再構築した。

(3b) 外国人留学生受入体制の充実

外国人留学生をサポートする「留学生受け入れサポートデスク」の充実を図った他、経済的支援として、鹿大「進取の精神」支援基金留学生受入推進事業に「鹿児島日本語・日本文化研修プログラム（学部留学生対象）」および「研究留学生受入プログラム」を新設して10名を支援した。また、JASSO 海外留学支援制度（協定受入）による学術交流協定校からの外国人留学生への支援、大学独自の奨学金として「留学生後援会奨学金（14名）」「種村完司奨学金（5名）」、「外国人留学生民間宿舍費助成事業（48名）」を継続して給付した。さらに、新規留学生獲得のため、国内4件、海外3か国3件の留学進学説明会に参加した（対応者合計267名）。この他、大学生協と連携してイスラム教徒向けハラルフードの学食提供を開始し、日本初の女性イスラム教徒弁護士による多文化共生に関する講演会を実施するなど、留学学生の受入体制支援を多角的に進めた。

(4) 国際的な情報発信

本学の情報を英語によって国際発信する機関誌『KU Today』のAutumn 2017号（No. 14）およびSpring 2018号（No. 15）を発行した。No. 14の特集は理学部・理工学研究科、No. 15の特集は工学部となった。それぞれ4000部ずつ発行し、2018年8月に海外協定校及び関係機関へ送付予定である。

【KU Today PDF版】<https://www.kagoshima-u.ac.jp/en/about/newsletter.html>

(5) 国際共同教育研究の推進支援

URAとグローバルセンター連携で、国際研究プロジェクトを推進する体制を構築し、JICA、JST、AMED 共同の国際プロジェクト SATEREPS の応募支援を行った。また、「若手教員海外研修派遣事業」で教員3名、鹿大「進取の精神」支援基金若手研究者支援事業で教員2名、新たに新設した「鹿児島大学若手教員海外語学研修支援事業」で教員5名に派遣支援を行った。

(6) 鹿大「進取の精神」支援基金事業

寄附金を原資とする同基金事業の実施報告として、「鹿大『進取の精神』支援基金 学生海外派遣事業 留学生受入推進事業 若手研究者支援事業 平成28年度事業報告書」を平成29年6月に刊行し、同基金を支援する目的で設立された鹿児島大学「鹿大『進取の精神』支援基金」支援会役員をはじめ関係各団体、企業に贈呈した。また、平成28年度事業報告によって事業の周知を図り、その進め方やグローバルな視点による地域貢献の可能性と今後の課題等について議論し事業改善に資することを目的に、第2回鹿児島大学グローバルセンターシンポジウム「鹿大『進取の精神』支援基金 学生海外派遣事業 留学生受入推進事業 若手研究者支援事業 平成28年度事業報告と今後の展望」を平成29年7月6日に開催し、学内外から90名が参加した。

以上

グローバルセンター

スタッフ紹介

馬場 昌範 (グローバルセンター長 難治ウイルス病態制御研究センター教授)

平成29年4月より、グローバルセンターは総合教育機構の一員になりました。同じ時に、私は国際企画推進担当副学長を拝命し、さらに平成30年4月からは副学長職に加えて、グローバルセンター長を併任させて頂いております。平成30年3月には、本学の国際化を推進する目的で、「鹿児島大学国際化の基本方針」が制定されました。グローバルセンターはその方針に則り、センターの皆さんおよび学生部へと改組された国際事業課の方々と力を合わせ、本学のグローバル化と教育研究の発展に尽力して参りたいと思います。

畝田谷 桂子 (グローバルセンター副センター長 学生海外派遣部門長 学長補佐(国際教育担当)教授)

学生海外派遣部門では、学生が海外活動を身近な選択肢として考えられるよう、情報提供や教育・支援を行っています。また、日本人学生と外国人留学生の交流を促進するため、Global Language Space での協働学修など様々な活動を企画し、実施しています。様々なチャンスの周知をさらに進めて、個々の学生が最適な選択ができるよう、お力添えをいただければ幸いです。引き続き、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

中谷 純江 (教授、グローバルセンター・キャンパスグローバル化部門長、北米教育研究センター長)

教育研究の国際化を推進するための体制整備や国際プロジェクトの企画運営などを担当しています。大学のグローバル化は、全学が連携して取り組む必要があるとともに、地域との連携が重要な課題です。学部間や、そして地域とをつなぐ役割を果たせるように務めます。専門は社会人類学、インド社会を主な研究対象にしています。近年は、近代化やグローバル化が家族や親族の形をどのように変化させるのか、どのように地域社会は維持されるのかをテーマに喜界島やミクロネシアの島でも調査を行っています。

和田 礼子 (グローバルセンター外国人留学生部門 教授)

専門は日本語教育です。学部留学生を対象とした共通教育の日本語科目の他、交換留学生や研究生、大学院生を対象とした日本語クラスで外国人留学生に日本語を教えています。鹿児島大学には324名の留学生が在籍しています。自然な形で日本人学生と留学生が語り合える大学になればと思います。

市島 佑起子 (グローバルセンター外国人留学生部門 講師)

現在、共通教育日本語科目、留学生を対象とした日本語・日本文化学修プログラム (Study Japan Program) を主に担当しています。以前は中国・韓国の大学で日本語を教えており、鹿児島大学に着任して6年がたちました。異なる背景を持つ学生達が、互いを尊重し、共に学びを深められる環境づくりに少しでも貢献できたらと思っています。

森田 豊子（グローバルセンター特任准教授）

2016年にグローバルセンターに赴任いたしました。P-SEG 短期海外研修（台湾、イラン）および学生海外派遣（協定校留学派遣、トビタテ！JAPAN 留学派遣等）を担当しています。自身の専門は国際関係論および中東地域研究（特にイランの家族法、子どもの権利）です。鹿児島大学で2002年から非常勤講師として2016年からは現職で「世界の中のイスラーム」を担当しています。鹿児島地域の多文化共生、ムスリム対応にも取り組みたいと考えています。

福富 渉（グローバルセンターキャンパスグローバル化部門 特任講師）

タイ語翻訳者として仕事をしておりましたが、2017年に鹿児島大学に着任いたしました。P-SEG プログラムの海外研修科目（タイ研修・シンガポール研修）、英文広報誌 KU Today の編集や、SNS の運用などを担当しております。タイの現代文学を専門に研究しておりまして、文芸作品の日本語訳などもおこなっています。鹿児島大学の学生のみなさんがご自身の世界を拓いていく学びの、お手伝いができればと思っております。

安永 政喜（国際事業課 課長）

国際事業課は、グローバルセンターが平成29年度に総合教育機構に編成されたことにより旧研究国際部から学生部へ改組となりました。事務職員8名、グローバルセンター所属特任専門員4名、非常勤職員4名の体制により国際事業、留学生等に係る業務を行っております。

今後も平成29年度に策定された「鹿児島大学国際化の基本方針」をベースにグローバルセンターと一体となって本学の国際化に向け取り組んでまいります。